

2009年5月13日  
株式会社 GCI キャピタル  
CEO 室 Klug チーム

## 「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」の結果

### 【要旨】

FX 取引における証拠金倍率(レバレッジ)の上限を 20~30 倍前後とする規制について、有効回答の 84.7%が「反対」と回答。

運用額 20 万円未満の回答者は「反対」が 90.8%を占める一方、運用額が大きくなるほど「反対」の割合が低下する傾向にあり、500 万円以上の場合、「反対」の割合は 76.6%まで低下。

レバレッジ規制が実施された場合の回答者の対応として、「FX 取引 1 回あたりの取引金額を変える」の回答割合が最も高く、次いで「とくに何もしない」、「FX 取引をやめる」が続く。

運用額 20 万円未満の回答者では「FX 取引をやめる」が高い割合を示す一方で、運用額 500 万円以上の回答者では「とくに何もしない」が高い割合を示す結果。

レバレッジ規制のあり方に関する自由回答(246 件)の中に以下意見が記された。

- (1) 投資は自己責任が原則だから規制は不要(61 件)
- (2) レバレッジ規制を実施する理由・根拠が不明(44 件)
- (3) レバレッジ規制の前に他規制を実施すべき(42 件)
- (4) レバレッジ規制の上限を報道内容(20 倍から 30 倍)よりも高く設定すべき(33 件)
- (5) レバレッジ規制が実施されるのなら海外の FX 業者を利用する(22 件)
- (6) 国内 FX 業界の衰退を懸念(21 件)
- (7) やむをえない・仕方がない(19 件)

### 【調査概要】

- ・ 調査実施期間：5 月 1 日(金)午前 11 時~5 月 8 日(金)午前 10 時
- ・ 調査対象：<http://www.gci-klug.jp/kisei> にアクセスしたユーザー(属性については、4. 参照)
- ・ 標本数：464 件(有効回答者数：411 件<有効回答率：88.6%>)
- ・ 調査方法：WEB ページに掲載された質問票によるアンケート調査

### 【お問い合わせ先】

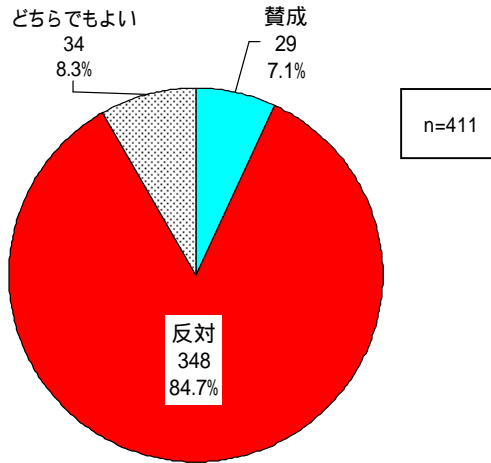
株式会社 GCI キャピタル  
CEO 室 Klug チーム  
チーフエコノミスト 村田雅志([masashi.murata@gci.jp](mailto:masashi.murata@gci.jp))  
TEL : 03 - 3556 - 5688

調査結果

1. FX 取引のレバレッジ規制の賛否

FX 取引における証拠金倍率(レバレッジ)の上限を 20~30 倍前後とする規制(以下「レバレッジ規制」とする)について、有効回答の 84.7%が「反対」と回答。「どちらでもよい」(同 8.3%)、「賛成」(同 7.1%)を大きく上回った(図表 1)。

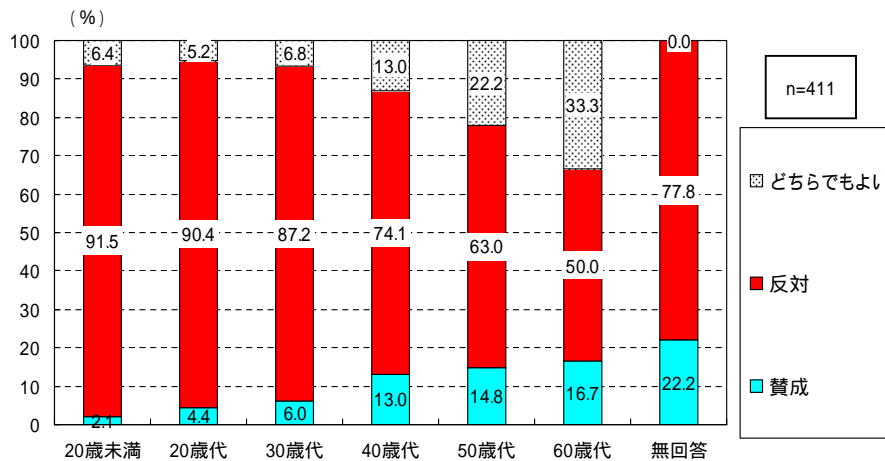
図表 1 レバレッジ規制の賛否



(資料)GCIキャピタルKlugチーム  
「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

レバレッジ規制の賛否を年齢別に集計すると、年代が上がるとともに「反対」の割合が低下する傾向となった(図表 2)。

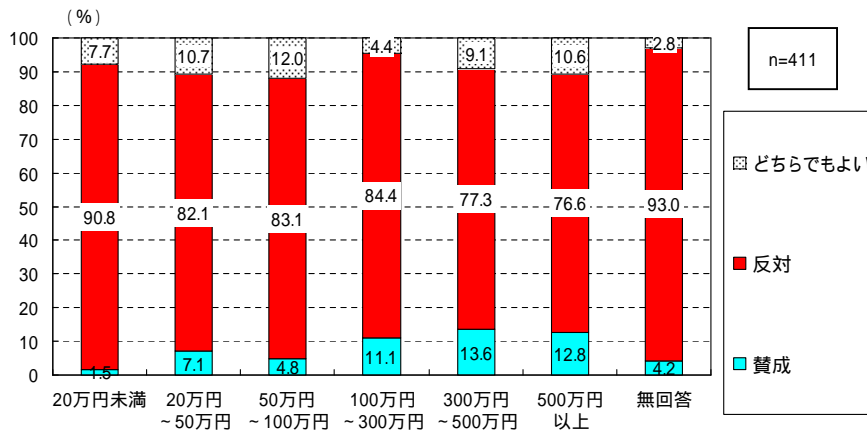
図表 2 レバレッジ規制の賛否(年齢別)



(資料)GCIキャピタルKlugチーム  
「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

レバレッジ規制の賛否をFXなど比較的高リスクの金融資産に対する投資運用額(以下「運用額」とする)別に集計すると、運用額20万円未満の回答者は「反対」が90.8%を占める一方、運用額が大きくなるほど「反対」の割合が低下する傾向にあり、500万円以上の場合、「反対」の割合は76.6%まで低下している(図表3)。

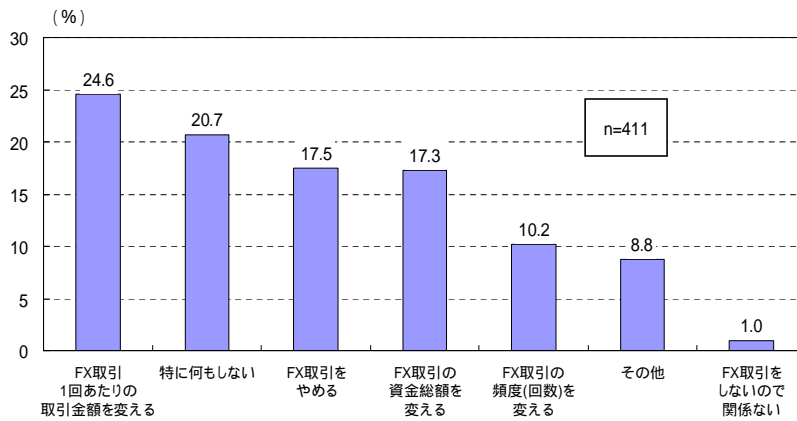
図表3 レバレッジ規制の賛否(運用額別)



## 2. レバレッジ規制への対応

仮にレバレッジ規制が実施された場合の回答者の対応（以下「レバレッジ規制対応」とする）を集計すると、「FX取引1回あたりの取引金額を変える」の回答割合が最も高い結果（有効回答の24.6%）となった。次いで「とくに何もしない」（同20.7%）、「FX取引をやめる」（同17.5%）が続いた（図表4）。

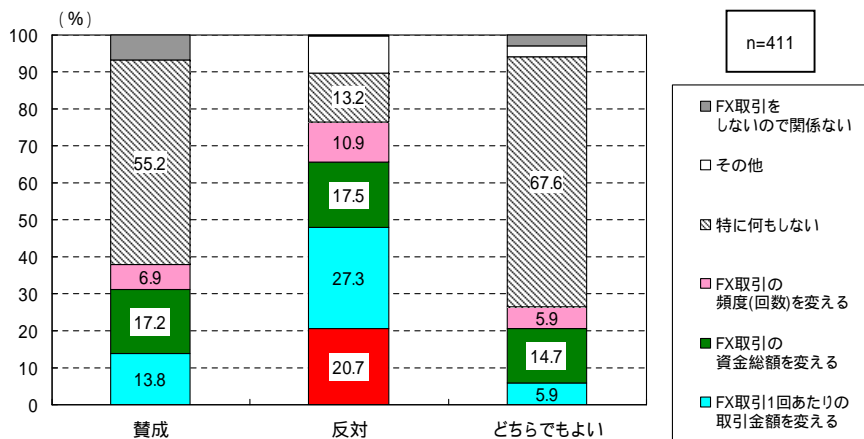
図表4 レバレッジ規制への対応



(資料) GCIキャピタルKlugチーム  
「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

レバレッジ規制対応をレバレッジ規制の賛否別に集計すると、レバレッジ規制が実施された場合、「FX取引をやめる」と回答したのは、レバレッジ規制に「反対」と回答した者だけとなり、「賛成」、「どちらでもよい」の回答者には存在しない結果となった（図表5）。一方、規制対応として「とくに何もしない」と回答した割合は、レバレッジ規制に「賛成」、「どちらでもよい」の回答者の過半を占めたが、レバレッジ規制に「反対」の回答者では13.2%にとどまった（図表5）。

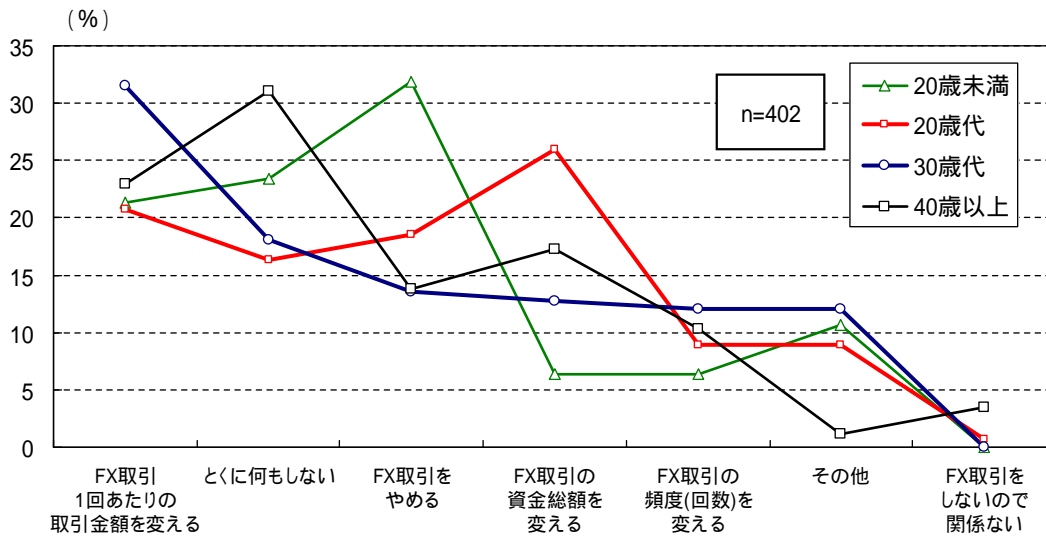
図表5 レバレッジ規制への対応(レバレッジ規制の賛否別)



(資料) GCIキャピタルKlugチーム  
「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

レバレッジ規制対応を年齢別に集計すると、20歳未満の回答者では「FX取引をやめる」、20歳代の回答者では「FX取引の資金総額を変える」、30歳代の回答者では「FX取引1回あたりの取引金額を変える」、40歳以上の回答者では「とくに何もしない」の割合が最も高い結果となった（図表6）。

図表6 レバレッジ規制への対応（年齢別）

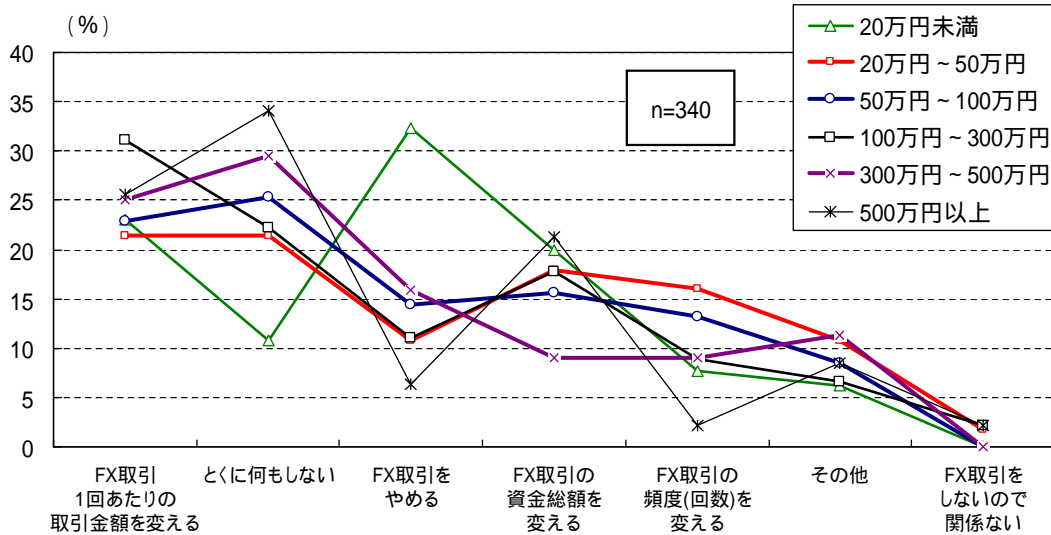


(資料) GCIキャピタルKlugチーム  
「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

(回答数)		Q6: 年齢			
Q4: レバレッジ規制への対応		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳以上
FX取引1回あたりの取引金額を変える	100	10	28	42	20
とくに何もしない	84	11	22	24	27
FX取引をやめる	70	15	25	18	12
FX取引の資金総額を変える	70	3	35	17	15
FX取引の頻度(回数)を変える	40	3	12	16	9
その他	34	5	12	16	1
FX取引をしないので関係ない	4	0	1	0	3
計	402	47	135	133	87

レバレッジ規制対応を運用額別に集計すると、運用額 20 万円未満の回答者では「FX 取引をやめる」が高い割合を示す一方で、運用額 500 万円以上の回答者では「とくに何もしない」が高い割合を示す結果となった（図表 7）。

図表 7 レバレッジ規制への対応(運用額別)



(資料) GCIキャピタルKlugチーム  
「証拠金倍率(レバレッジ)規制に関する緊急アンケート」

(回答数)		Q8: リスクの高い金融資産に対する投資運用額					
Q4: レバレッジ規制への対応		20万円未満	20万円～50万円	50万円～100万円	100万円～300万円	300万円～500万円	500万円以上
FX取引1回あたりの取引金額を変える	83	15	12	19	14	11	12
とくに何もしない	79	7	12	21	10	13	16
FX取引をやめる	54	21	6	12	5	7	3
FX取引の資金総額を変える	58	13	10	13	8	4	10
FX取引の頻度(回数)を変える	34	5	9	11	4	4	1
その他	29	4	6	7	3	5	4
FX取引をしないので関係ない	3	0	1	0	1	0	1
計	340	65	56	83	45	44	47

### 3. レバレッジ規制のあり方に関する意見(自由回答)

本アンケートでは、自由回答形式で「FX取引における証拠金倍率(レバレッジ)規制のあり方」について回答者より意見を求めた。本質問項目に対する有効回答数は246件。以下は、自由回答の内容を共通・重複する項目で抽出した結果を整理したものである。

#### (1) 投資は自己責任が原則だから規制は不要(61件)

「投資は自己責任」とする、いわゆる「自己責任原則」を指摘し、規制に反対する回答が、本項目において最も多いものとなった。

#### 【記載された意見(一部抜粋)】

そもそもレバレッジを何倍にして取引をするかは、投資家個人の自由意思で決めるものです。自己責任なのだから、個人の自由に国家がとやかく口出しするのは、許せない。(男性、30歳代、運用額：無回答)

昔の株や商品先物のように営業マンの言いなりになって取引をしているわけではなく、インターネットを介して口座を開設し、自分の考えで取引をしているわけだから規制をする必要はないと思います。(男性、年齢：無回答、運用額：無回答)

資本主義、自由民主主義の国なのだから、つまらない規制は不要。リスクを取るのも取らないのも、個人の自由にさせてほしい。(男性、30歳代、運用額：50万円～100万円)

今回の規制の目的は「個人投資家の保護」ということのようにですが、多くの個人投資家がロスカットを入れないために、大きく値が動いたとき資産がなくなってしまうのは確かだと思います。ですが、そうしたリスクは取引を行う前に承諾して始めているわけなので、自己責任の範疇だと思います。大きく値が動き、証拠金が払い戻される以上の損失があって、証券会社が損失を肩代わりするというケースをなくす為にレバレッジの規制をかけるのであれば、それは個人投資家の保護ではなく、証券会社の保護が主たる目的になっているのではないのでしょうか？証券会社が肩代わり(回収不能)になるケースはレバレッジや口座最低残高等の基準を甘くしすぎた証券会社の責任だと思います。(男性、20歳代、運用額：無回答)

結局、全額失っても困らない範囲でFX取引を行えば良いので、個人の問題だと思う。リスク管理が出来ない人は、レバレッジを下げてダメだろうしレバレッジの規制は意味無い。(男性、30歳代、運用額：20万円未満)

国際的にも、世界に通用する金融商品がないなかで、非常に魅力的な金融商品であることもあり、投資家が自由にリスクも含めて検討することが大事であり、規制をすることには、慎重な対応が必要であろう。(男性、20歳未満、運用額：3000万円～5000万円)

証拠金倍率はFX業者から一方的に強制されるものではなく、あくまでも投資家の自己裁量により自由に選択できる幅であると思います。証拠金倍率の上限を規制することにより投資家の自由度が大きく損なわれることとなります。(男性、30歳代、運用額：3000万円～5000万円)

FXは自己責任です。損害を被るのが必ずしも弱者ではありません。過保護は国の負担を増大させるだけ。(男性、30歳代、運用額：50万円～100万円)

(2)レバレッジ規制を実施する理由・根拠が不明(44件)

レバレッジ規制を実施する理由や根拠が不明とする意見のほか、金融当局にレバレッジ規制を実施する理由や根拠の説明を求める声もあった。

【記載された意見（一部抜粋）】

<p>法人ならともかく個人に対してレバレッジ規制をする意味が分からない。(男性、20歳代、運用額：20万円未満)</p> <p>投資家の資産を守るために、信託保全の義務化は当然と思うが、なにゆえレバレッジまで規制するのか、理解できない。(男性、30歳代、運用額：無回答)</p> <p>全く持って不可解。レバレッジは個人に選択させるべきで、なぜ個人選択をさせないように官庁が動くのか説明が欲しい。(男性、30歳代、運用額：300万円～500万円)</p> <p>規制をすることによってどのような効果がのぞめるものが明確にしてから言ってほしい。(女性、20歳代、運用額：無回答)</p> <p>証拠金倍率規制をすることでのメリットは何なのでしょう？私にはあまり意味がわかりません・・・(男性、30歳代、運用額：3000万円～5000万円)</p> <p>反社会的でも無い行為に規制の網をかける理由が分からない。余談だが、昨今のネットによる薬販売と同じような当局の錯誤があるように思えてならない。(男性、20歳代、運用額：500万円～1000万円)</p> <p>何故規制するのか？理由(規制するメリット、デメリット)を明確に国民に説明すべきである。(男性、60歳代、運用額：50万円～100万円)</p> <p>何故、規制が必要なのかがいま一つ判りにくい。もっと情報の開示をするとともに、関係各社、省庁などは意見の交換を行うべきだ。(男性、20歳代、運用額：20万円～50万円)</p> <p>レバレッジの上限が20～30倍って、何を根拠に？(女性、30歳代、運用額：無回答)</p>
---

(3)レバレッジ規制の前に他規制を実施すべき(42件)

レバレッジ規制を実施するよりも、信託保全・ロスカットルールに関する規制や、悪徳FX業者の取り締まりを強化すべきとの声があった。また規制ではないものの、FX関連規制の整備を指摘する声や、一律規制ではなく個別規制を望む声があった。

【記載された意見（一部抜粋）】

<p>金融庁はレバレッジ規制以前に、不正な呑み行為や一部顧客に対する約定拒否等、規制すべき事が沢山あるはず。(男性、20歳代、運用額：20万円未満)</p> <p>投資家保護を目的とするのなら確実にロスカットが執行されることとレート操作などが行われないように指導監視を徹底するべき。(男性、20歳代、運用額：50万円～100万円)</p> <p>まず・信託保全の義務化・取引所為替証拠金取引との税率の一本化などやるべきことが多数あり、なぜレバレッジ規制が先に来るのか不明だ。(男性、20歳代、運用額：300万円～500万円)</p> <p>一部聞くところによると、取引量の膨張によるシステムの混乱を心配しているようでもあるが、その場合はいわ</p>
--

ゆる”総量規制”でよいのではないかと考える。(男性、50歳代、運用額：20万円～50万円)

一律規制ではなく、個別業者のシステムや財務などを勘案した上での、個別規制はありうる。その場合にも、様々な規制方法があるわけで、投資家にとって影響の少ない方法を選ぶべき。(男性、20歳代、運用額：100万円～300万円)

超初心者に対する今迄以上の十分な事前説明や経験に応じた規制枠を設ける等の方策が先決ではないかと思えます。(男性、40歳代、運用額：50万円～100万円)

いっしょくたに規制するよりも、モラルのない勧誘行為の摘発や、安易にレバレッジを高くすることへの警告を義務付けるなどすべき。(女性、20歳代、運用額：20万円～50万円)

#### (4)レバレッジ規制の上限を報道内容(20倍から30倍)よりも高く設定すべき(33件)

レバレッジ規制の実施を容認するものの、規制上限は、マスメディアが報道する20倍から30倍ではなく100倍など、より高い倍率を望む声があった。

#### 【記載された意見(一部抜粋)】

FX会社の過当競争を防ぐため、ある程度の上限を設けるのは必要だが、現状を考えると100～200倍あたりが妥当ではないか。もしやるのなら、初心者には20～30倍で、別途上級者向けには承諾書を取ればよいのでは。(男性、20歳代、運用額：300万円～500万円)

レバレッジの過度な倍率は、規制があってよいと思うけど、せめて100倍にして欲しい。(女性、30歳代、運用額：20万円～50万円)

多くの方が思われているように、レバレッジ上限20～30倍というのはあまりにも低すぎると思います。(男性、30歳代、運用額：50万円～100万円)

世界的には信用力の高い400～500倍の会社はザラにある。日本も少なくとも100倍くらいまでは認めるべき。(男性、20歳代、運用額：20万円～50万円)

20-30倍の規制はやりすぎだと思う。取引所為替証拠金取引が100倍なのでそのくらいが妥当だと思う。(男性、20歳代、運用額：500万円～1000万円)

レバレッジ400～600倍などを規制するのはけっこうですが、トレイダの選択肢として最低100倍はあってほしいと思います。(男性、20歳未満、運用額：20万円未満)

(5)レバレッジ規制が実施されるのなら海外のFX業者を利用する(22件)

レバレッジ規制が実施されるなら、規制の範囲外となる海外のFX業者を利用するとの声があった。また、為替市場は世界的なものであるため、日本だけで規制を強化する点を疑問視する声もあった。

【記載された意見（一部抜粋）】

50倍以下に規制されたら海外業者に移ります。(男性、30歳代、運用額：50万円～100万円)

日本一国でレバレッジを規制しても諸外国で同様の規制が実施されない限り、实体经济に悪影響を与えかねないような投機取引が止むことはないであろう。(男性、20歳代、運用額：100万円～300万円)

規制がかかれば、海外業者が有利という情報はあつというまに広がるにちがいない。海外に資金が逃げ、税金の回収もしづらくなるのは明らか。総合的に考え、業者や投資家、国にとってもデメリットの方が大きい気がする。(男性、30歳代、運用額：300万円～5000万円)

世界が舞台の外国為替取引で日本在住トレーダーにのみレバレッジ規制の網をかけるのは金融鎖国日本への道。(男性、20歳代、運用額：50万円～100万円)

高レバレッジを求める人は、規制導入をきっかけに、外国のFX業者と契約トレードするようになるのではないかと想像します。(男性、30歳代、運用額：50万円～100万円)

「海外の優良業者」に資金を逃避させてFXをします。(男性、20歳代、運用額：100万円～300万円)

国内の規制を強化しても現在の取引環境では投資家が海外業者で取引をすれば規制は無いも同じ。(男性、30歳代、運用額：50万円～100万円)

(6)国内FX業界の衰退を懸念(21件)

レバレッジ規制をきっかけに、日本のFX業界が衰退するのでは？と懸念する声があった。

【記載された意見（一部抜粋）】

20～30倍というレバレッジ規制はトレーダーの収益機会減少やFX取引量減少から国内FX業界のパイは確実に縮小する。(男性、20歳代、運用額：50万円～100万円)

規制が実施されればほとんどのトレーダーは海外の業者に移り、国内の業者の多くが廃業せざるを得なくなる。(男性、20歳未満、運用額：20万円未満)

今回の規制は取引の減少を引き起こし、結果として業界の縮小を導くことは明白だ。(男性、20歳代、運用額：300万円～500万円)

20～30倍のレバレッジでは小額の資金で始められていた人たちがみんななくなってしまい、マーケットの縮小につながり倒産する、もしくは、廃業する業者が多々出てくると思う。(男性、20歳未満、運用額：50万円～100万円)

90年代前半の香港において、レバレッジを規制したために、FXのマーケットが急激に縮小してしまった良い実例がある。(女性、20歳未満、運用額：無回答)

(7) やむをえない・仕方がない(19件)

FXに関する様々な出来事などを理由に、レバレッジ規制は、やむをえない・仕方がないとする意見があった。

**【記載された意見（一部抜粋）】**

規制されるきっかけは政治家でも官僚でもない。実は国民の一部が望んだからの場合が多いと言います。投資家自身が金融庁に泣きついたからではないのですか？（女性、年齢：無回答、運用額：300万円～500万円）

何百倍もの倍率が、FX取引をギャンブルそのものとの見方がある。個人的には、規制もやむなしです。（男性、50歳代、運用額：100万円～300万円）

ギャンブル感覚で投資をしている方がいるのであれば、レバレッジ規制も必要と考えます。ただ、規制しても、ギャンブラーはギャンブルで破産します。（男性、30歳代、運用額：20万円～50万円）

流行はスプレッドの狭さやレバレッジの高さで夢を見せることばかり派手になっていてとどまるところを知らないように感じます。このままでは何らかの規制があっても仕方がないことだと思います。（男性、20歳未満、運用額：20万円未満）

今回の規制は、高レバレッジで、かつ、大量の取引数、しかも、スキャル取引をネット上でも奨励するような状況が生み出した弊害によるものと思料しています。唾を天に向かって吐き、自己の顔にかかったようなものと捉えています。（男性、30歳代、運用額：300万円～500万円）

リスク管理の疎い初心者などが大ヤケドして悲惨なことになっている事例をみると、ある程度の規制はしょうがないと思っている。（男性、30歳代、運用額：300万円～500万円）

ある程度の規制は止むを得ないと考えます。主婦の巨額脱税などの報道によりFX取引は一般の人から見れば傍若無人に映っているはず。不労所得を否む大衆心理は当局の監督姿勢に影響します。（男性、30歳代、運用額：50万円～100万円）

4. 集計対象標本の属性分布

(性)

	実数(人)	構成比(%)
男性	366	89.1
女性	43	10.5
無回答	2	0.5
計	411	100.0

(年齢)

	実数(人)	構成比(%)
20歳未満	47	11.4
20歳代	135	32.8
30歳代	133	32.4
40歳代	54	13.1
50歳代	27	6.6
60歳代	6	1.5
無回答	9	2.2
計	411	100.0
(再掲)40歳以上	87	21.2

(性と年齢のクロス集計)

(回答数)		Q7:年齢			
Q6:性		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳以上
男性	360	45	122	117	76
女性	42	2	13	16	11
計	402	47	135	133	87

(FXの経験)

	実数(人)	構成比(%)
ある	400	97.3
ない	11	2.7
計	411	100.0

(FX業者を選ぶ際のレバレッジ)

	実数(人)	構成比(%)
検討材料にする	351	85.4
検討材料にしない	60	14.6
計	411	100.0

(性と年齢のクロス集計)

(回答数)		Q2:FX業者を選ぶ際のレバレッジ	
Q1:FXの経験		検討材料にする	検討材料にしない
ある	400	344	56
構成比(%)	97.3	83.7	13.6
ない	11	7	4
構成比(%)	2.7	1.7	1.0
計	411	351	60
構成比(%)	100.0	85.4	14.6

(比較的リスクの高い金融資産に対する投資運用額)

	実数(人)	構成比(%)	無回答を除いた構成比(%)
20万円未満	65	15.8	19.1
20万円～50万円	56	13.6	16.5
50万円～100万円	83	20.2	24.4
100万円～300万円	45	10.9	13.2
300万円～500万円	44	10.7	12.9
500万円～1000万円	26	6.3	7.6
1000万円～3000万円	5	1.2	1.5
3000万円～5000万円	16	3.9	4.7
無回答	71	17.3	---
計	411	100.0	---
計(除く無回答)	340	82.7	100.0
(再掲)500万円以上	47	11.4	13.8

(年齢と比較的リスクの高い金融資産に対する投資運用額のクロス集計)

(回答数)		Q8: リスクの高い金融資産に対する投資運用額					
Q7: 年齢		20万円未満	20万円～50万円	50万円～100万円	100万円～300万円	300万円～500万円	500万円以上
20歳未満	36	12	8	7	4	2	3
20歳代	106	21	14	29	15	13	14
30歳代	117	26	17	36	9	11	18
40歳以上	78	5	16	11	17	17	12
計	337	64	55	83	45	43	47

## 参考資料: アンケート調査票

## 証拠金倍率（レバレッジ）規制に関する緊急アンケート

Klugクルーク事務局では、FX取引における証拠金倍率(レバレッジ)の規制に関する緊急アンケートを実施しています。

お忙しいところ恐縮ですが、ぜひアンケートへの回答にご協力ください。

アンケートにご回答いただいた方のうち、抽選で10名の方に、

有料レポート「水上紀行の為替コメント」(7日間)分をプレゼントさせていただきます。

- Q 1 外国為替証拠金取引(FX取引)をしたことがありますか？
- はい  
 いいえ
- Q 2 FX取引のサービスを提供する会社を選ぶ際に  
証拠金倍率(レバレッジ)の範囲を検討材料の1つにしますか？
- はい  
 いいえ
- Q 3 各種報道によると、金融庁はFX取引における証拠金倍率(レバレッジ)の上限を  
20~30倍前後とする規制を定める方針のようです。  
上記規制について賛成ですか？ 反対ですか？
- 賛成  
 反対  
 どちらでもよい
- Q 4 仮にFX取引における証拠金倍率(レバレッジ)の上限が20~30倍前後となった場合、  
あなたはどのような対応をしますか？  
最も当てはまるものを1つだけお選びください。
- FX取引の資金総額を変える  
 FX取引1回あたりの取引金額を変える  
 FX取引の頻度(回数)を変える  
 FX取引をやめる  
 とくに何もしない  
 FX取引をしないので関係ない  
 その他

- Q 5 FX取引における証拠金倍率(レバレッジ)規制のあり方について  
ご意見をご自由に記載ください。

- Q 6 あなたの性別をお答えください。

男性  
 女性

年齢

20歳未満  
20歳代  
30歳代  
40歳代  
50歳代  
60歳代  
70歳代  
80歳以上

- Q 7 あなたの年齢をお答えください。

年齢 ▼

投資運用額

20万円未満  
20万円～50万円  
50万円～100万円  
100万円～300万円  
300万円～500万円  
500万円～1000万円  
1000万円～3000万円  
3000万円～5000万円  
5000万円以上

- Q 8 FXや投資信託など比較的高リスクの金融資産に対する  
投資運用額をお答えください。

投資運用額 ▼

- Q 9 最後に、アンケート回答者限定のプレゼント応募を希望される方は、  
メールアドレスを記載ください。  
(プレゼント抽選結果は、メールにてお知らせさせていただきます)

送信

以上です。ご協力ありがとうございました。